

ひとは何のために生きるのか？

マグカルシアター参加作品

劇団 遊戯

国境の花屋

BORDER FLOWER SHOP

作 キム・ギョンジュ

演出 ペ・ミヒャン

2025年7月4日(金)～6日(日)

神奈川県立青少年センター内

スタジオ HIKARI (桜木町駅 徒歩5分)



干からびたレテの川を渡り、国境を越えれば新しい世界がある。

難民たちは命からがら、唯一の希望を託して国境にある花屋へと辿り着いた。そこで花を手に入れば川を渡れるという。しかしそこには、さまざまな危険や葛藤、そして誘惑が渦巻いていた。

ひとは何のために生きるのか？ 鬼才 キム・ギョンジュが劇団遊戯のために書き下ろした、ギリシア神話をベースに現代を鋭く抉った戯曲。もちろん世界初の上演です。どうぞお見逃しなく！

マグカルシアター参加作品

劇団遊戯 国境の花屋

BORDER FLOWER SHOP



わたなべひろみ



栗山永悟
(オフィス八田)



桑垣紀彦



吉中志帆
(MUVRINOIE)



高平ひかる



吉直潤太



伊藤哲哉



安田ひとこ
(オフィス八田)



横山天音



松田志津子



作 キム・ギョンジュ 金經株

1976年 光州生まれ。詩人・劇作家。韓国詩壇「現代詩を率いる若き詩人」選定。自身の flying airport スタジオで詩劇実験運動を行い、作品はアメリカ、フランス、メキシコなど海外でも広く上演されている。邦訳戯曲集に『オオカミは目玉から育つ』（論創社）。



演出 ペ・ミヒョン 배미향

劇団遊戯主宰。演出家、俳優。幼少期より韓国舞踊を学び釜山大芸術大学舞踊学科を卒業。1986年「演戯団コリペ (연희단거리패 Street Theatre Troupe)」(イ・ユンテク主宰) 創立メンバーとなり、劇団員が共同生活を行う環境の中、長きにわたって主力女優として活躍。1990年代より日本でも積極的に活動し、主に「新宿梁山泊」「身体の色」などの舞台に出演。2012年に多目的スペース 日暮里 ART CAFE 百舌を立ち上げ、2013年に劇団遊戯 創設。劇団公演の演出と日本人俳優の育成に勤む。

会場 神奈川県立青少年センター内 スタジオHIKARI

開演日時 7/4 (金) 19:30
7/5 (土) 14:00 18:30
7/6 (日) 14:00
※開場は 30 分前です

チケット 3500円
高校生以下 1000円 (身分証提示要)
ともに税込み

予約サイト <https://trkr.jp/ticket?p=hanaya>



音照 楽明
舞舞 台監
舞舞 台監
美術・衣装 監督
日脚・本・制作 協力
翻 訳 協 力
劇 作 家 法 国
国 際 交 流 韓 国
企 画 プ ロ デ ュ ー ス
翻 訳 監 修
宣 伝 デ ザ イ ン
チ ラ シ 絵 力
協 問 合 せ

松田 幹
川村孝志
桑垣紀彦
ペ・ミヒョン、松田志津子
堀切リエ
森野菜月
チョ・ヒョジョン、イ・ジェヤ
イ・ジェヤ(創作集団スンサク代表)
イ・ヨンソ
うさぎ一号グラフィックス
佐久間正晃
渡辺冬子
gekidanyuugi@gmail.com

主催 神奈川県 劇団遊戯



この公演は、神奈川県マグカル展促進補助金の助成を受けて実施しています。

